



2年生読書ノート 1学期貸出数ベスト10



タイトル	貸出数	本の評価(平均値)
ふむふむ おしえて、お仕事！	13	★★★★ (3.85)
奇跡のリンゴ	12	★★★★ (4.42)
おばあちゃんが、ぼけた。	9	★★★★ (3.89)
ゴリラは語る	9	★★★★ (3.78)
犬たちをおくる日	8	★★★★ (4.63)
臨死体験	8	★★★★ (4.00)
あなたはそっとやってくる	8	★★★★ (3.38)
みえない雲	7	★★★★ (4.14)
先生、巨大コウモリが廊下を飛んでいます！	7	★★★★ (4.14)
TOKYO 0円ハウス 0円生活	7	★★★★ (3.86)
空の名前	7	★★★★ (3.71)

オオカミ族の少年
衝撃的な始まりから、たいてい心とつながりました。私は涙に襲いかかる場面も自分達の力で乗り越えたいと思ったりする事が印象に★★★★☆残りました。

時の旅人
凡日本語が難しく、読みかたは、大変でしたが、物語としては楽しかったです。説明が細かくて、その場にいるような気持ちになりました。★★★★☆

怪しいジンドバット
作者と外国人の人々のエピソードが上でもおもしろい。初めて読むノンフィクションの本だったので、内容が重くなくて読みやすかった。外国について興味がありました。お正月のイベントは90%の北朝鮮のイベントを、20%の胎児を食う。★★★★☆

先生、巨大コウモリが廊下を飛んでいます！
学校生活に動物が絡んでくる面白さ。この本の事件はとても新鮮なもので、動物が好きな子供に読んでほしいです。面白かったです。★★★★☆

赤ちゃんと来た 石坂 啓
赤ちゃんと出逢うとはどんな体験なのか、子育てのやり方はどうやってすればいいのかがよくわかる書があり、おもしろかったです。かわいらしいイラストがあり、わかりやすく読みやすかったです。★★★★☆

あなたと、とてつらく
人種差別について改めて考えさせられた本でした。読み始めると時を忘れて読み進めることができました。★★★★☆

第八森の子供たち
1年の間におこした様々な様子が細かく書かれていたため、私も歴史、7500ヶ年くらいは気が持った感じがしました。ゴリラ戦争はよくないことだと思いました。★★★★☆

犬たちをおくる日
マシンのクレーンでは死んだ動物も生き残った動物も同じように扱われていた。でもマシンのクレーンでは生き残った動物も生き残った動物も同じように扱われていた。★★★★☆

犬たちをおくる日 平野 悠
みなさんにも読んでみてください！
この本は命の重さや人間の自己中心の残酷さがよくわかります。
私は今まで、ズや猫の殺傷の事実についてあまりよく知りませんでした。
でも、この本を読んだら、動物にも苦しむ動物の最後、死後の動物の魂がどこへ行ってきているのか、とても、とても読みやすい本です。★★★★☆

犬たちをおくる日 他
この本は、捨てられた保護センターの動物たちや、犬や猫の命の記録が書かれています。涙が止まらな場面も多く、読み終わってほろろ泣いてしまいました。動物の命を大切にしたいです。★★★★☆

臨死体験
「死んだ後、自分はどこへ行くのか？」この疑問について私はよく考えます。この本は、死にかけて入った体験が、まるで、物語や、漫画に比べてリアルな非現実的なことでもありますが、たぶんこれより死に対しては、怖く、死にたい気がしつ

ふむふむおしえて
この本は、動物の生活が、とても面白かったです。動物の生活が、とても面白かったです。★★★★☆

犬たちをおくる日
この本は、動物の命の重さや人間の自己中心の残酷さがよくわかります。★★★★☆

怪しいジンドバット 高野 悠
この本は、動物の命の重さや人間の自己中心の残酷さがよくわかります。★★★★☆

空の名前
「空」とは、鳥の羽が飛ぶことです。高野悠の「空の名前」は、空の鳥の羽が飛ぶ姿が、とてもきれいです。★★★★☆